



副代表幹事  
企業経営委員会 委員長  
**菅田 史朗**  
ウシオ電機  
取締役相談役

Contents

■特集1	
長谷川代表幹事の 四年間を振り返る	02
経済同友会と日本、激動の四年間 座談会	03 05
■特集2	
地方から日本を創生する	14
委員長メッセージ	
地方分権・道州制委員会 柏木 斉 委員長	15
地域の将来ビジョンを示せる 地域経営者としての自覚を	
まち・ひと・しごと創生PT 市川 晃 委員長	17
地方から新しい付加価値が生まれる 「プラスサム」の地方創生を	
地方創生に向けた政府・自治体の取り組み	19
<small>(中国・四国九県各経済同友会代表幹事との意見交換会より)</small>	
■Doyukai Report	
被災地出張授業	
「世界の変化とコマツの取り組み」	21
野路 國夫	
<small>副代表幹事・科学技術・イノベーション委員会 委員長(コマツ 取締役会長)</small>	
「自立と協働と創造」	23
杉江 和男	
<small>学校と経営者の交流活動推進委員会 委員長(DIC 取締役会長)</small>	
第5回会員懇談会	
「アジア太平洋地域における米国の経済政策」	25
アントニー・J・プリンケン氏	
<small>アメリカ合衆国国務副長官</small>	
柏崎刈羽原子力発電所視察	28
■Column	
巻頭言 菅田 史朗	01
「電気エネルギーの長期安定確保に向けて」	
リレートーク 星野 朝子	26
「地球の色は何色?—“正解”の価値—」	
福島に“ほんとの空”が戻る日まで	27
～福島大学FUREの挑戦～ 菊地 芳朗 氏	
「震災による文化財被害と地域社会とのつながり」	
私の思い出写真館 古橋 和好	30
「わが故郷と日誌」	
新入会員紹介	28
産業懇談会の紹介	29

「電気エネルギーの長期安定確保に向けて」

長く日本の製造業を悩ませた円高が是正され、法人税減税も実現に向かい、わが国を生産拠点として見直す機運が出ており、雇用確保や経済成長という面で期待がかかる。懸念されるのは、少子・高齢化に伴い今後さらに進むであろう人手不足と、高いエネルギー価格だ。前者はダイバーシティ展開や再配置による労働力の確保、またロボットやICTの活用など、工夫の余地がある。心配なのは後者、とりわけ電気料金の動向だ。東日本大震災以降、家庭用では2割、産業用では3割ほど値上がりした。停止している原子力発電所に代わり稼働が増えた火力発電用の原油や天然ガスは、需要の増加と円安が重なり、貿易収支悪化の大きな要因になっている。この半年で原油価格が大幅に下がり一息ついているが、これとて、産油国の政策や投機マネーの動向に左右され、今後は不透明だ。

一方、エネルギー問題を長期的に見た場合、石炭や原油、シェールオイル／ガスの可採埋蔵量が増えたといっても、これら化石燃料にいつまでも頼れるのだろうか。そもそも、地球が何億年もの長い年月をかけて生み出した物質を、ほんの数百年という人類の歴史からしても極めて短期間に、私たちがエネルギー源として費消してしまっているという疑問が残る。地球温暖化や大気汚染への対策も必要だ。他方、再生可能エネルギーの太陽光や風力などは、狭い面積でまとまった量を確保することが難しく、安定性に欠ける。従って、水素転換を含む高効率の蓄電技術と組み合わせた分散型での普及が現実的だ。国全体の電力安定確保のためには、安全性が確認された原子力発電所の早期再稼働が待たれるし、より安全な原子炉の開発も進めるべきだろう。また、道のりは険しそうだが、資源の持続性という点で、高速増殖炉にも期待したい。

このような中、米国ロッキード・マーチン社が10年以内に小型核融合を实用化すると発表し、話題になっている。それとは別に、日米欧による実験炉建設も徐々に進んでいるようだ。「地上の太陽」と呼ばれる核融合によって作られた電気エネルギーはまだないが、実現すれば、ほぼ無尽蔵の燃料による、より危険性の低い原子力発電が可能となり、iPS細胞などに匹敵する科学技術上の大きなワンステップだ。いつぞやのベル研究所での高温超伝導や最近のSTAP細胞のような肩透かしにならないようにと、強く願っている。

省エネ努力が不可欠なことは言うまでもないが、豊かな社会づくりに欠かせない電気エネルギーであるだけに、長期的な科学技術の発展に期待と信頼を寄せ、さまざまな発電方式について、時には優先順位を変え強弱を付けながらも、可能性を求めて幅広く開発を進めてもらいたい。

今月の表紙：世界の文様シリーズ

【日本・蒔絵硯箱(まきえすずりばこ)の桜】

衣装や用具に使われる、さまざまな桜の文様は、日本人に愛され続ける代表的な和風文様です。満開の桜が、お花見の華やきを感じさせます。